

平成 19 年 9 月 25 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

投資信託委託業者名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2007 年 8 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2007 年 8 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名／項目	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	93.1%	18,099	16,846	550
オリエンタルホテル 東京ベイ	89.0%	25,517	22,706	629
なんばオリエンタルホテル	92.4%	11,515	10,645	181
ホテル日航アリビラ	95.8%	57,584	55,187	1,054

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門においては、客室タイプに応じた柔軟な販売施策の成功により、前年同月に比べ、宿泊稼働率は下回りましたが、客室単価が向上し、前年同月を上回る売上となりました。レストラン部門においては、宿泊稼働率低下による朝食売上の減少により前年同月を下回る売上となりました。婚礼部門においては、料理単価を中心に婚礼平均単価引き上げの施策が定着するとともに婚礼件数及び婚礼客数が対前年を上回り、前年同月を上回る売上を達成することができました。ホテルの総売上は、宿泊部門が好調であったこと及び婚礼部門の回復から、前年同月と比較して上回る結果となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門においては、ネット販売及びホテルの組織会員をターゲットに販売を強化した施策により、前年同月を上回る ADR を確保しつつ、稼働率が前年同月でマイナス 2%弱に留まり、結果として前年同月を上回る売上となりました。レストラン部門はレストラン「チャイニーズ・テーブル」の改装効果によ

り前年同月を上回る売上となりました。宴会部門においては、一般宴会の大型ディナーショー等が盛況でしたが、婚礼売上の減少により前年同月を下回る売上となりました。ホテルの総売上は、宿泊部門、レストラン部門、一般宴会部門の売上増が婚礼部門の売上減をカバーし、前年同月と比較して若干上回る結果となりました。

なんばオリエンタルホテルについて

大阪市内の主要ホテルにおける稼働率は、前年同月と比較して僅かながら下落する結果で推移しました。当ホテルにおいては、インターネットを通じたウェブ予約、エージェントを通しての予約共に前年同月を上回り、稼働率・ADR共に上昇させ、ホテルの総売上は、前年同月と比較して上回る結果となりました。

ホテル日航アリビラについて

2007年8月の航空会社輸送実績は647,949人(JAL, ANA, SKY 合計)であり、前年同月比で105.6%(34,484人増)と好調に上回る形で推移しました。

宿泊部門においては、ADR及び稼働率が共に対前年を上回ったため、宿泊売上は前年同月を上回る結果になりました。レストラン部門においても、宿泊稼働に連動して、前年同月を上回る結果となりました。宴会部門売上が対前年同月で微減であったものの、宿泊部門、レストラン部門等の主要営業部門が前年同月を上回った結果、ホテルの総売上も前年同月と比較して上回る結果となりました。

-
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完前性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR：平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>